

平成25年度 主要施策 定住促進に重点



高槻市長
濱田剛史

市は、定住人口の増加を最重要課題として、子育て・教育などの特徴的施策や、市の魅力をプロモーションする営業戦略など、定住を促進する各種施策に重点的に取り組めます。これらを着実に実行することで、あらゆる世代が「住みやすさナンバーワン」を実感できるまちを目指します。



府内初

35人学級を小学校全学年に導入



魅力ある教育を推進

さらなる学力の向上を図ります
平成24年度大阪府学力・学習状況調査の結果は、義務教育終了段階の中学3年生において大阪府の平均を大きく上回っており、これまでの教育施策や各学校の取り組みの成果が着実に表れてきています。
このような成果も踏まえ、今年度は府内ナンバーワンのきめ細やかで質の高い教育の実現に向け、小学

校のすべての学生で、クラス35人以下の学級を導入、中学校は普通教室で情報機器を活用した授業が行える環境を整備し、さらなる学力の向上と豊かな心をほぐす教育の充実に取り組めます。

今年度は、昨年度の子育て支援策の大胆な拡充に続き、学力向上に向けた教育環境の一層の充実重点を置いています。

小学校の全学年で、35人以下の学級を導入。1学級の人数を少なくすることで、一人一人に、より丁寧な指導を行います。思考力・判断力・表現力などの育成や、学習に取り組む意欲を養うことが目的で、全学年への導入は府内初です。

そのほか、下欄の事業などに取り組み、教育環境のさらなる充実を図ります。

3年生の児童数が112人の場合
【国の規定=40人学級】担任3人を配置

1組	2組	3組
38人	37人	37人



【高槻市】市独自に担任を1人増

1組	2組	3組	4組
28人	28人	28人	28人

いじめ・不登校対策

- 市ホームページに「はにたんの子どもいじめ110番」を開設。いじめから仲間を守るため、教育委員会に携帯電話やパソコンから通報できるシステムを構築
- 学校問題解決チーム(相談チーム)の設置
- 全小学校にスクールソーシャルワーカーを派遣
- 「いじめをなくそう子ども会議」などの開催



はにたんカード

「はにたんの子どもいじめ110番」へアクセスできるQRコードが付いたカードを、全小・中学校の児童生徒に配布します。

中学校の教室に電子黒板機能付きプロジェクターなど設置

ICT機器をいつでも活用できる環境を整備し、映像資料で理解を深めたり、電子黒板を使って発表するなど、子どもたちの学習意欲を高めます。

地域と連携した特色ある学校づくり

保護者や地域の意見を踏まえ、学校経営に関する具体的な重点目標などを設定。各校で独自の取り組みを進めます。



老人福祉センターで陶芸

街かどデイハウスでパソコン講座



生き生き暮らせるまち

高齢者福祉サービス

- 7月から配食サービス事業を、平日に加え土曜日にも実施
- 4月から、緊急通報装置設置・救急医療情報キット配布の対象者を拡大
- 4月からリニューアル版「高槻ますます元気体操」のDVDなどを配布し、介護予防を推進

障がい者福祉サービス

- 6月中旬から救急医療情報キットの配布を開始
- 7月から重度障がい者向けタクシー利用助成の対象者を拡大
- 支援学校生徒などを対象に市役所などでの就労体験を実施

エレベーター公民館に設置

今年度は、真上・日吉台公民館でエレベーターの設置工事を行います。また、芥川・南大冠公民館で、設置のための実施設計を行います。

市は、幅広い世代の皆さんに、交流と多様な学習活動を支援するため、今後も整備を進めていきます。

次世代へつながるまちづくり 定住人口の増加を促進

家族3世代の近居・同居、企業の社宅整備を支援

市内で新たに家族3世代の近居・同居を始める子育て世代の支援、市内における企業社宅の整備奨励に向けて助成制度を創設し、定住人口の増加を促進

「マイホーム借上げ制度」の普及促進

子育て世帯の定住促進と郊外住宅地の活性化を目指し、空き家となっている住宅を活用する「マイホーム借上げ制度」の普及促進のため、セミナーを開催

関西中央都市高槻



自然災害に備える防災訓練



安全・安心のまちづくり

防災設備の充実

南部地域に耐震性貯水槽の整備など

集中豪雨への対応

総合的な浸水対策の検討、「下水道浸水被害軽減総合計画」の策定

耐震化の推進

- 学校園など公共建築物耐震化を推進
- 民間木造住宅の耐震診断・設計・改修を補助

市域全体で大規模防災訓練

8月25日(日)、市コミュニティ市民会議など連携し、本市初となる全市民を対象とした大規模な防災訓練を実施します。防災では、自ら助けける「自助」、助け合う「共助」、行政がとるべき「公助」の役割があります。また、大切な命の自衛・共助。身を守る避難所や避難路を確認するためにも訓練への参加をお願いします。



危機管理室 加納彰

あらゆる世代にとって

「住みやすさナンバーワン」へ

JR高槻駅ホームの増設を支援など

JR西日本が行う新たなホーム整備を支援。また、JR高槻駅南人工デッキの美装化と駅前広場の再整備を推進します。

服部図書館・行政サービスコーナーを開設



今年度は、連年1月に7月開館予定の服部図書館内に住民票を交付する行政サービスコーナーを設置し、さらなる市民サービス向上に努めます。



市民課 阿部倫子



新名神高速道路(イメージ図)



快適に暮らせるまちづくり

(仮称)安満遺跡公園整備の推進

市民参加の取り組みを進め、公園整備構想を策定

新名神高速道路供用開始への取り組み

高槻インターチェンジ、ジャンクションを備えた新名神高速道路の整備を促進。関連道路の整備を進め、沿道のまちづくりを支援

新たなコミュニティセンターの整備推進

地域活動拠点施設が未整備だった2地区のうち、桃園地区で建築工事、西阿武野地区で建築設計を実施

市営バス上牧へ運行開始など

高槻の中心市街地と上牧地域を結ぶ路線の開設で、利便性を向上。また、「子ども無料キャンペーン」などの取り組みを検討

魅力あるお店のオープンを応援

飲食店などの起業・創業を支援する「創業・個店支援制度」の対象を小売店まで拡大

新エネルギー普及推進

今年度は「たかつき新エネルギー戦略」に基づき、太陽光発電の補助金拡充や公共施設の屋根貸し事業のほか、エネルギー貯蔵システムへの補助金、公用車への電気自動車の導入を実施。また、地域の環境保全活動の担い手育成のため、たかつき市民環境大学を開講します。



環境緑政課 藤井靖之



太陽光発電システム



JR高槻駅北東地区を望む



子育て支援を拡充 経済的負担の軽減など 子育て施策のトップランナー都市へ



安心して出産を迎えられるよう応援

市は今年度、全国トップクラスとなる妊婦健診の費用助成、北摂で初となる里帰りなど府外で受診した乳児健診費用の助成実施など、子育て支援策の拡充を実施。昨年度に続き、子育て支援策や教育環境の充実など特徴的な施策を一層推進し、総合的な子育て施策における関西でのトップランナー都市を目指します。

妊婦健診 総額12万円助成

全国トップクラスへ引き上げ



乳児健診

平成24年度	平成25年度
合計 69,000円	合計 120,000円
内訳	内訳
17,000円券 1枚	23,000円券 1枚
4,000円券 13枚	10,000円券 2枚
	7,000円券 11枚

妊婦健診は、出産までに14回程度の受診が望ましいとされています。

市は4月から、妊娠・出産に伴う経済的負担の軽減を図るため、14回分の妊婦健診費用の助成額を51,000円増額。総額120,000円に拡大します。

北摂初 里帰りなど府外での乳児健診に費用助成

市は、府内の委託医療機関で乳児一般健康診査を実施していますが、4月から助成を拡大。府外の医療機関で受

診した人に、6,038円を上限に費用を助成金として還付します。



あなたの子育て応援します
子ども保健課 馬場みかる

昨年度は、不妊や不育症に悩む夫婦を支援するため、府内で初めて不育症治

療費の助成や特定不妊治療費の助成拡大など、新たな命を守り育てる施策に取り組まれました。
今年度は、妊婦健診、乳児健診、予防接種などさまざまな母子保健サービスを大幅に拡充して、皆さんの妊娠、出産、子育てを応援

また、子ども保健課では、妊娠や出産、乳幼児の発達や栄養、育児などに関する相談に専門職が応じています。訪問も行いますので気軽に相談してください。
市は、皆さんが安心して子育てできるよう施策を進めていきますので、市での子育てを楽しんでください。

保育所定員を80人増 待機児童の解消へ

民間保育所の創設で60人、既存施設の定員増で20人の合計80人の定員増を行います。また、0～2歳を中心にした施策を検討するほか、事業所内保育施設への助成制度を新たに創設。待機児童の解消に取り組みます。

学童保育を拡充 午後7時まで開室

4月から学童保育室の延長保育を午後7時まで実施し、長期休暇中の開室時間を午前8時30分に繰り上げるなど北摂トップクラスの充実度に。また、高槻小学校、桃園小学校に2室目の学童保育室を整備します。

ヒブワクチンなど 接種費用を無料化

4月1日からの定期接種化に伴い、ヒブ・小児用肺炎球菌・子宮頸がん予防ワクチンの接種費用を無料化しました。



元気に遊ぶ園児



放課後を過ごす児童

めばえ教室 土曜日実施

療育ニーズに対応するため、めばえ・第2めばえ教室(乳幼児療育事業)を土曜日にも実施し、受け入れ人数を拡大します。